

事務事業評価シート

評価実施年度：平成29年度

上位の施策名称 施策Ⅲ-2-3
文化芸術の振興

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長

文化国際課文化振興室 柳楽ひとみ

電話番号

0852-22-6776

事務事業の名称		文化を担う人材育成・顕彰・奨励事業
目的	(1) 対象	文化芸術活動を行う県民
	(2) 意図	より一層活動を活性化させるとともにそのレベルアップを図るため。また、文化を継承していく次世代を育成するため。
事業概要	県民の文化芸術活動を助長し、文化の振興と地域の活性化を図るため、これらの活動を公に顕彰し県民の励みとする必要がある。そのため、本県の文化の発展に貢献することが期待され、活動を奨励するにふさわしいものに奨励賞を贈り、これを顕彰において授賞している。	

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 島根県文化奨励賞の表彰件数	目標値		2.0	2.0	2.0	2.0	件
		取組目標値						
	式・定義 表彰件数	実績値	2.0	2.0				%
		達成率	-	100.0	-	-	-	
2	指標名	目標値						
		取組目標値						
	式・定義	実績値						%
		達成率	-	-	-	-	-	

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	154	175
うち一般財源 (千円)	154	175

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

・本県文化振興への貢献が期待できる活動を行っているものを平成2年から毎年1～2名表彰しており、平成28年度までに53個人・団体が受賞。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

・各推薦団体に対し本事業の必要性、効果を様々な機会をとらえ周知し、表彰対象者の確保に努めた。
・授賞式の模様や、受賞者のインタビューを交えて、NHKほかのテレビ局で放映され、受賞者たちの喜びや励みになった。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

・表彰対象者として推薦される件数が減少している。

②困っている状況が発生している「原因」

・文化団体の加入者が高齢化し、次世代の活動等を十分に把握できていない。

③原因を解消するための「課題」

・県が実施している文化事業等を通じ、次世代の活動について積極的に情報収集する。
・市町村・団体等にも積極的な推薦を働きかける。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

・新聞・情報誌・TVなどからも情報収集に努め、文化団体や若手人材等の活動を把握していく。
・引き続き積極的な推薦を働きかける。